

# いしかわ まちづくり View

No.37

## 目次

- 特集 (都) 空港軽海線4車線供用・(都) 根上小松線小松大橋開通  
～南加賀地域の交流人口拡大に向けて～ (小松市) ……1
- あのまち、このまち“まちづくりめぐり”  
七尾都心軸 御祓川大通りの完成 (七尾市) ……4  
「緑のミュージアム空間」本多の森公園の再整備  
～回遊・景観・バリアフリー～ (金沢市) ……5  
街並み環境整備事業  
～暮らし・にぎわい・地域の再生と継承に向けて～ (總持寺周辺地区) ……6  
～周遊できるまちづくりをめざして～ (鳳至上町地区) ……7
- まちづくりの動き  
加賀市都市計画マスタープラン策定 (加賀市) ……8
- センターだより ……9

## 特集

### (都) 空港軽海線4車線供用・(都) 根上小松線小松大橋開通

#### ～南加賀地域の交流人口拡大に向けて～

#### 1. はじめに

都市計画道路空港軽海線は、北陸の空の玄関口である小松空港とJR小松駅や北陸自動車道、国道8号小松バイパス、加賀産業開発道路を結び、南加賀地域を東西に一体化する幹線道路ですが、歩道がなく幅員も狭い2車線道路で、歩行者や自転車にとって危険な状況となっていました。

このため、安全・安心な交通の確保、市内の東西交通の利便性向上、広域的な交通ネットワークの形成を図るとともに、小松市の歴史・文化が香る道路空間の創出を目指し、4車線化に加えまちなかの無電柱化や景観に配慮した歩道整備を行いました。

また、都市計画道路根上小松線は、市中心部と能美市根上地区を結ぶ地域の交流を促進する道路で、特に梯川から市中心部へ向かう区間は、旧北国街道として、古くから多くの人・ものの交流を担ってきました。

しかしながら、昭和10年に梯川に架けられた「小松大橋」は老朽化が著しく、隣接する歩道橋も幅員が狭小であり、安全な交通に支障をきたしていました。

こうした中、市中心部への北の玄関口にふさわしいまちづくりを進めるため、国が進める「梯川の改修」にあわせ、県では「小松大橋の架け替え」、市と地元では「まちなみ景観整備」を、互いに連携・協力し行っています。



## 2. 空港軽海線と根上小松線小松大橋の事業概要

### (1) 「空港軽海線の事業概要」

事業区間：小松市城南町西交差点  
～細工町交差点

区間延長：L=1,985m



整備前



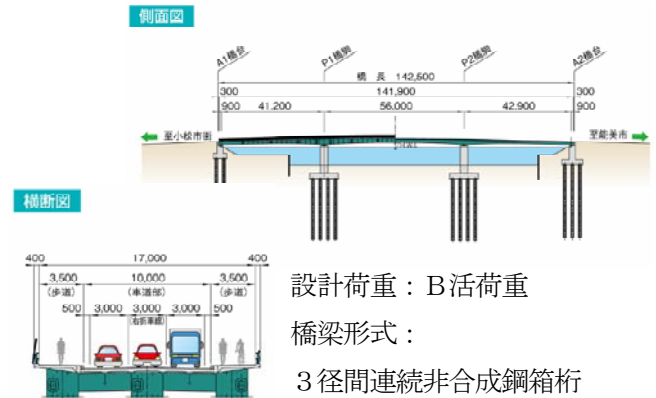
整備後

道路の拡幅による交通の円滑化、無電柱化による歩行空間の確保ならびにまちなみ景観の向上が図られました。春には白山を望みながらドライブが楽しめます。

### (2) 「根上小松線小松大橋の事業概要」

事業区間：小松市天神町～大川町

橋 長：L=142.5m



整備前



整備後

車両の大型化への対応と耐震性の向上を図るとともに、無散水消雪を備えたゆとりある歩道を整備しました。歩道からは、梯川の水辺空間や白山眺望が楽しめます。

### 3. まちなみの魅力創出について

#### (1) こまつの歴史・文化を醸し出す 道路空間の創出（空港軽海線）

洗い出し舗装に御影石を組み合わせた歩道とし、和風で落ち着いた歩行空間を創出しました。



歩道には、安宅の関跡までの距離表を埋め込むとともに、歌舞伎の隈取(くまどり)をモチーフにした照明灯を設け、小松市の歴史や文化を醸し出す工夫をこらしました。



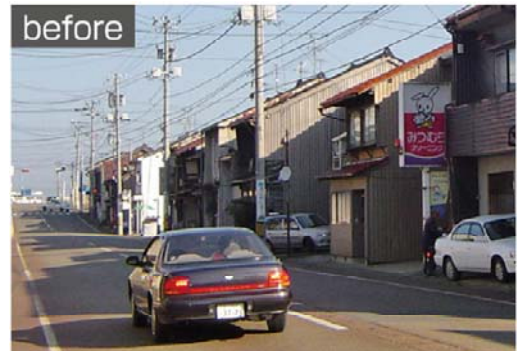
安宅の関跡までの距離表



歩道照明灯

#### (2) 旧北国街道の面影を感じる まちなみの創出（根上小松線小松大橋）

小松大橋の左岸地区においては、地元住民が策定した「まちづくり協定」により、旧北国街道の面影を感じる統一感のあるまちなみ創出を目指しています。



### 4. おわりに

空港軽海線の4車線化ならびに小松大橋の完成により、小松市内の安全・安心な交通が確保されることはもとより、南加賀地域の広域的なアクセスが向上することから交流人口が増大し、小松市中心部が活性化するように期待します。

#### 【問い合わせ先】

石川県土木部都市計画課街路・都市交通グループ

TEL : 076-225-1758

Email: gairo@pref.ishikawa.lg.jp

# ～七尾都心軸 御祓川大通りの完成～

## ■ 事業の背景

七尾市は、万葉の時代より能登の政治、経済、文化の中心地として栄えてきた港町です。現在、能越自動車道や能登空港など、能登地域の交流交通基盤が着々と整備される一方で、七尾市の中心市街地では空洞化が進み、まちの吸引力の低下が懸念されていました。

そこで、石川県では、まちの活気を取り戻すため、駅と港を結ぶ（都）府中七尾駅線（御祓川大通り）を都心軸に位置づけ、商業・文化・交流機能を集約したまちづくりを進めることとし、地元住民による「七尾都心軸まちづくり協議会」とともに「明るい和風の港町」をコンセプトとして、みち・かわ・まちなみが一体となった魅力的な都市空間の形成に官民協働に取り組んできました。



## ■ 地域活性化の拠点として

平成23年2月に執り行われた「完成を祝う会」では、地元商店街が中心となって能登の海の幸、山の幸をPRする「のと・七尾海鮮七輪まつり」も合わせて開催され、多くの人で賑わいました。今後も定期市の開催や、住民や地元企業と協力した、道路の美化・緑化活動などを通じて、地域の活性化が進んでいくものと期待します。



多くの人で賑わう「完成を祝う会」



道路緑化の植え替え活動

## ■ 沿道の景観形成

沿道住民が中心となって建物の景観ルールを策定し、このルールに基づいて多くの建物が建て替わり、美しいまちなみが形成されました。また、歩道舗装、街路灯、街路樹、親水護岸等のデザインも沿道住民の意見を聞きながら決定しました。



事業前後の沿道状況



## ■ おわりに

JR七尾駅から能登食祭市場を結ぶ歩行者の回遊ルートが完成し、ますます魅力を増していくこの御祓川大通りが、周辺商店街の賑わい創出や、七尾市の誘客拡大に発展するよう期待します。

### 【問い合わせ先】

石川県土木部都市計画課街路・都市交通グループ

TEL : 076-225-1758

Email: gairo@pref.ishikawa.lg.jp

# 「緑のミュージアム空間」本多の森公園の再整備 ～回遊・景観・バリアフリー～

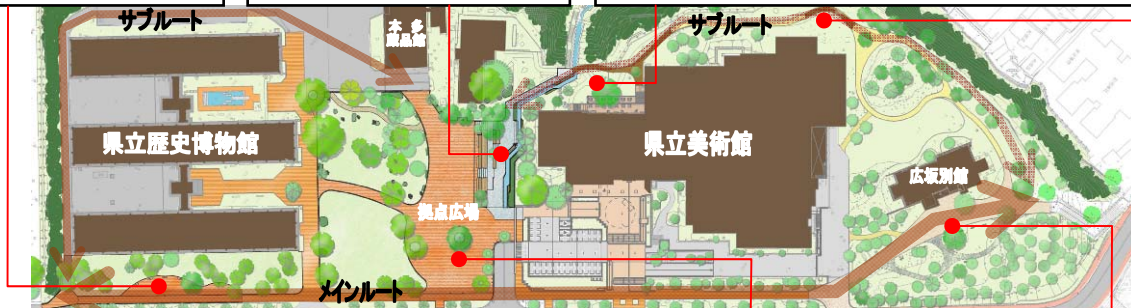
## ■ 本多の森公園について

本多の森一帯は緑豊かな環境の中に、県立美術館、県立歴史博物館、県立能楽堂をはじめとする文化施設が集積され、芸術・文化・歴史・自然がおりなす緑のミュージアム空間として広く県民に利用されています。

しかしながら、各文化施設が、順次個別に整備されてきたことなどから、全体としての一体性が薄く、各施設の連携に乏しい印象がありました。

このため、平成17年に「兼六園周辺文化施設活性化検討委員会」を設置し、回遊性、利便性の向上や景観の魅力アップについて検討を行いました。

この委員会の提言を受け、平成19年度には「本多の森回遊ルート景観・バリアフリー検討会」を設け、学識経験者等の指導、助言を受けながら平成20年度から順次整備を進めています。



## ■ 再整備について

回遊性については、軸となるメイン・サブルート of 整備、園路広場のバリアフリー化、サイン等の整備を行いました。木製のデッキを各所に設け眺望や休憩のスペースとし、夜間の景観照明（LED化）も設置したほか、樹木整理・剪定により各施設間の見通しの確保も行いました。

## ■ 今後について

今年度は、美術館広坂別館周辺の園路等を整備し、回遊性や景観の向上を図ります。明るく生まれ変わった本多の森公園に是非お越し下さい。

### 【問い合わせ先】

石川県土木部公園緑地課

TEL : 076-225-1772

Email: e251800a@pref.ishikawa.lg.jp

## ～暮らし・にぎわい・地域の再生と継承に向けて～ 街並み環境整備事業（総持寺周辺地区）

### ■ はじめに

輪島市門前町は、総持寺の門前町として古くから栄え、今も多くの歴史的な建築物が立ち並び、歴史・風土を育んできた重要な景観要素となっています。

総持寺周辺地区における景観の保全については、市民がふるさとへの愛着と誇りを持って住み続けることができるように、住環境の整備改善を図ることを目的とし、景観形成基準を第1基準から第3基準までの3段階の区域に分類し、建築物の色彩・素材・形状に関する基準を設け町並みの統一を図ってきました。

### ■ 能登半島地震

総持寺周辺地区においても能登半島地震で約120棟を超える住宅が全壊・半壊の大きな被害を受け、歴史的・伝統的なまちなみの再生が懸念されました。



震災直後に総持寺地区まちづくり協議会の主催で住宅相談会が実施され、「建て起こし」など、伝統的な技術による修復工事の勉強会が行われました。又、この地区には、震災前から「街なみ環境整備事業」による景観基準と外観修景助成制度あり、住宅の再建や修復に併せて利用され、町並みが美しくよみがえりました。

#### 【問い合わせ先】

石川県輪島市建設部都市整備課

TEL :0768-23-1156

Email:toshi@city.wajima.lg.jp



総持寺周辺地区景観基準



震災直後



修復後



景観基準に合わせて整備された交流施設

### ■ おわりに

総持寺との密接な歴史的背景が存在している特性を活かしながら、これからも住民及び来訪者に対して魅力ある景観整備を目指します。



## ～周遊できるまちづくりをめざして～ 街並み環境整備事業（鳳至上町地区）

### ■ はじめに

輪島市は、中心市街地活性化のために、中心市街地を回遊したくなるような、輪島らしい魅力ある街なみづくりに力を注いでいます。道路の舗装を美しくするなどの修景を図ったり、輪島らしい街なみを保全育成したり、核となる交流施設の整備をおこなうために、「まちづくり総合支援事業」「輪島・都市ルネサンス事業」「街なみ環境整備事業」「マリンタウンプロジェクト」「工房長屋」等の事業をすすめてきました。



～周遊できるまちづくりをめざして～

### ■ 鳳至上町

輪島市の伝統産業である輪島塗は、室町時代より北前船とともに栄え今日に至っています。これらの職住一体の塗師の家のたたずまいが今でも残っている唯一の地区であり、また、大正から昭和初期の建築物も多く残り、細街路も多く、特徴ある風情を醸し出しています。

塗師の家のたたずまいと調和する街なみ景観を形成させるため、街づくりに対する地域住民の意識の高揚を図りながら、街路拡幅整備による建替え再整備ではなく、外壁改修などによる修景整備に助成を行い、より効果的な街なみ整備を行ってきました。

また、鳳至上町において能登半島地震で全壊23棟、大規模半壊7棟、半壊22棟の住家が被害を受けましたが、建物の景観基準が被災前からあったため修景整備助成制度を活用し、住宅再建が進められ街なみを守る事が出来ました。



### ■ いろは蔵

ご寄付いただいた蔵を交流サロンとして改修し、地区住民が交代で蔵当番を行い自主運営をしています。地区の住民と観光客の交流の場として活用されています。



### ■ 効果

落ち着いた輪島らしい街なみが形成され徐々に、朝市からの観光客が回遊する姿が見えるようになりました。

#### 【問い合わせ先】

石川県輪島市建設部都市整備課

TEL : 0768-23-1156

Email: toshi@city.wajima.lg.jp

# まちづくりの動き

## 加賀市都市計画マスタープラン策定

加賀市は、平成17年10月に合併し、本年4月に新市の都市計画の総合的な指針として、「加賀市都市計画マスタープラン」を策定しました。

### 都市づくりのテーマ

みんなでつくる 人にやさしい かがやく地域  
温泉、自然、歴史文化を活かし協働で歩む  
安心して暮らせるまちづくり

### 都市づくりの視点

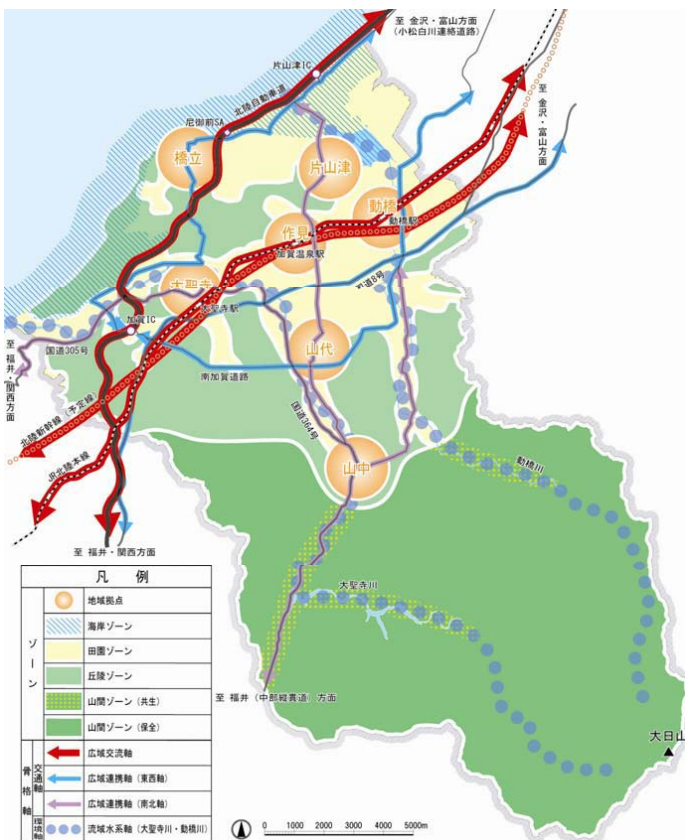
自然・流域の中でともに生き豊かな自然を守るまち  
文化・地域固有の文化を磨き継承・創造するまち  
人・地域の未来をともに考え支えあって生きるまち

### ■ マスタープランの構成

加賀市都市計画マスタープランは、市の土地利用や都市基盤施設整備の方針を示した「全体構想」と市域を7カ所に区分し、地域ごとのまちづくりの方針を示した「地域別構想」で構成されています。

### ■ 全体構想

幹線道路や鉄道等の交通体系、河川等の自然環境、地域拠点や田園等の地勢的特性をベースに、骨格軸とゾーンを設定し、広域的視点から将来都市像の実現をめざします。



将来都市構造図

### ■ 地域別構想

大聖寺、山代、片山津、動橋、作見、橋立、山中の各地域ごとに、自然や温泉、歴史文化、伝統的産業などの地域の特徴を活かした将来都市像の実現をめざします。

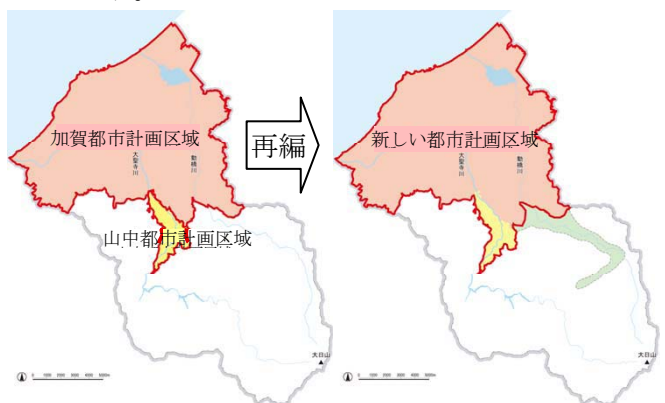
### ■ 策定の経緯

平成20年度から22年度にかけて、金沢大学の高山教授を委員長として、計4回の策定検討委員会を開催しました。また、アンケートやパブリックコメント、地域別懇談会を行い、市民の意見を反映させました。

### ■ 実現に向けた取り組み

#### ・都市計画区域の再編・編入の検討

現在、加賀と山中2つの都市計画区域が指定されており、一体性のあるまちづくりのため1つに再編するとともに、山中地域での用途地域指定を検討しています。



#### ・道路網の見直し

必要な都市機能が集約されたエコ・コンパクトシティをめざすため、都市計画道路等の道路網計画を見直しています。

※ 詳しい内容は加賀市ホームページでもご覧になれます。<http://www.city.kaga.ishikawa.jp/>

### 【問い合わせ先】

石川県加賀市建設部都市計画課

TEL :0761-72-7925

Email:toshikeikaku@city.kaga.lg.jp

# センターだより

『(財)いしかわまちづくり技術センター』は今年度もまちづくりに関する様々な事業を展開する予定です。ここでは、今年度予定している事業についてご案内します。

## まちづくり情報の提供

### ○まちづくりライブラリー

- ・まちづくりや都市計画の専門図書 約 800 冊
- ・閲覧・貸出を行っております。図書一覧については、ホームページに掲載されております。お気軽にお立ち寄り下さい。

### ○いしかわまちづくり View

県内のまちづくり情報紙を発行します。  
(年 2 回、ホームページ掲載)

## まちづくりの啓発・普及活動

### ○まちづくり専門家の派遣

- ・まちづくりの講習会などに講師を派遣します。
- ・講師の旅費・謝金の一部を助成します。

### ○我（和）がまちづくり

(いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業)

- ・風土・食・伝統をテーマとした継続的なまちづくり活動を支援します。今年度 4 件のまちづくり活動を助成します。

### ○いしかわこどもの未来創造まちづくり事業

- ・子どもたちがまちやまちづくりを学ぶための活動を支援します。今年度 9 件のまちづくり学習に活動費を助成します。

### ○まちづくりリーダー研修会

- ・各事業で助成した団体の活動報告と意見交換会を開催します。

### ○まちづくりに関する研修の開催

- ・都市計画・まちづくりに関する研修会を開催します。

### ○街並み・まちづくりシンポジウム

- ・今年度は珠洲市での開催を予定しています。

## まちづくり支援業務の受託

県や市等から公共事業に係るまちづくり協議会の運營業務を受託し、まちづくりに関する調査、計画等の立案を行っております。



▲ 専門家の派遣



▲ まちづくり研修会



▲ こどもの未来創造まちづくり事業



▲ まちづくりリーダー研修会



▲ まちづくりライブラリー



▲ まちづくり支援（視察研修）

## 編集後記

当センターでは、地域や住民が主体となったまちづくりを推進することを目的に、「我（和）がまちづくり」事業を今年度より開設しました。専門図書の貸し出しや専門家の派遣など、まちづくりに関する支援事業も数多く行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

編集協力：石川県都市計画課・

公園緑地課・建築住宅課・輪島市・加賀市

発行：(財)いしかわまちづくり技術センター

TEL 076-232-2255 FAX 076-232-2532

HP <http://www.machisen.jp/>

発行日：平成23年8月